

## 憲法違反の

### 安全保障関連法案を廃案に！

#### 「安全保障関連法案の

#### 今国会での成立を断念すること」を

#### 求める意見書」賛成多数で可決

今年3月の市議会で、議員提案「戦後70年の節目に自治体から平和を求める意見書」は、可否同数の結果、議長判断で否決となり、多くの市民の方から失望の声が寄せられました。

国会審議の中で、数々の問題が明らかにされている安全保障関連法案については、政権の驕りと、言論の自由さえ脅かされる事態に、国民の不信と怒りは高まるばかりです。

4月の改選後の市議会では、数の力で法案を押し切ろうとする現政権に批判的な議員の賛成多数で（賛成14・反対11）、意見書が可決しました。武蔵野市民の良識が、市議会の構成を変えた結果といえるのではないのでしょうか（各議員の賛否については市議会HP「会議の結果」詳細な賛否結果」でご覧になれます）。

また、「年金情報流出の全容解明と再発防止を求める意見書」、「原発事故避難者の居住の安定を求める意見書」については、全会一致で可決されました。内山さと子は、これら3本の議員提出議案を共同で提出しました。

## 「動き出したら止まらない」公共事業の象徴に？ 五輪の象徴「新国立」が泣いている

財政見通しのない新国立競技場の建築計画に、批判が高まっている。世界的建築家である槇文彦氏が「計画が巨大すぎる、景観と調和しない」と指摘したのは、一昨年8月。数々の問題の指摘を受け、検討し直す時間は充分あったのに、事業主体の日本スポーツ振興センター（JSC）も文部科学省も、一体何をしていたのか。

奇抜なデザインと緑豊かな神宮外苑の環境との不整合のみならず、膨らみ続けた巨額の建築費と維持管理費の問題。当初1300億円で募集したデザインコンペが行われたのは、五輪招致の目玉にするため。消費増税も建築資材の高

騰も考えておらず、あわてて昨年5月に見直した基本設計費は1625億円、さらに今年6月末に最終的に示されたのは2520億円。工期は遅れる上に、一部工事は五輪後に先送り。

ちょうど一年前、武蔵野市議会で「神宮外苑の歴史、文化と景観に調和した国立競技場を求める意見書」を提案したが、「重厚長大」旧来型の考えの議員が半数を占め、実を結ばなかった。特殊なアーチに固執しなければ約800億円圧縮できるとの指摘もあり、耐震性の面からも見直すべき！世紀の祭典の象徴をこのまま「負の遺産」にしていけない。 (智)



### 「みんなの学校」上映会のお知らせ

日時：8月1日（土）①14：00～ ②18：30～

会場：武蔵野プレイス4階フォーラム

（JR中央線・西武多摩川線 武蔵境駅南口）

入場料：1000円（18歳以下無料）

大阪の、実在の小学校の日常を追ったドキュメンタリー映画。特別な配慮が必要とされた子どもたちが、大勢通っている大空小学校、でも、特別支援教室はありません…たったひとつの約束は「自分がされていやなことは人にしない、言わない」こと。今、全国に、みんなの学校への共感の輪が広がっています。

後援：武蔵野市教育委員会

主催：むさしので「みんなの学校」をみよう！会

予約・お問い合わせ：080-3758-1057 内山